

名古屋工業大学学術データポリシー解説

本ポリシーの骨子は、

- (1) 学術データの管理、公開及び利活用の方法は、それを収集又は生成した者が主体的に決定できること、
 - (2) 本学の構成員は自らが収集又は生成した学術データを適切に扱うべきであること、
 - (3) 本学はその構成員による学術データの管理等の活動を支援すべきであること、
- を明確にすることにある。

上記の(1)から(3)は、本ポリシーの第3項から第5項にそれぞれ対応している。

1. 目的

本ポリシーは、名古屋工業大学憲章の理念のもとに策定するものであり、オープンサイエンスの流れから求められる大学内の学術データ管理体制を定めるためのものである。

2. 本ポリシーにおける学術データの定義

本ポリシーにおける学術データとは、教育研究活動の過程などにおいて生じる、又は取り扱うデータのうち、原則公開された論文等のエビデンスとなる以下(1)から(3)の電子データが挙げられる。

- (1) テキスト
- (2) 数値データ
- (3) マルチメディア（画像、音声、動画）

なお、上記(1)から(3)以外に教育研究に係る電子データを収集又は生成した場合、収集又は生成した者の判断で公開することができる。

また、学術データのうち名古屋工業大学における研究情報・データの適正な取扱いに関する要項(平成28年3月9日制定)に該当する研究資料の保存期間は、原則として、当該論文等の発表後10年間は保管しなければならない。

大学構成員が、以前に在籍した機関で収集又は生成した学術データであっても、本学在籍中にこれらを保持している場合は、本ポリシーの対象となる。

3. 本ポリシーにおいて非対象となるもの

本ポリシーにおいて非対象となる学術データは、以下(1)から(5)のものが挙げられる。

- (1) 法令及び本学の規程その他関係規則において非公開とするもの
- (2) 研究途上のもの
- (3) 権利者の許諾を得る必要があるもので、許諾が得られていないもの
- (4) 電子データ以外の学術データ
- (5) 学術データを収集又は生成した者の判断で、非対象とした電子データ

4. 学術データの管理等

学術データを収集又は生成した者は、原則として、その管理、公開及び利活用について決定することができ、これらを本学が一方的に定めることはない。ただし、その決定は、法令及び本学の規程上許される範囲にとどまるべきであることはもとより、当該データについて第三者が権利や法的利益を持つ場合（例えば、データに第三者の知的財産権や個人情報を含む場合）には、それらを害してはならないという制約を受ける。

学術データの管理とは、データの収集、生成、解析、保管、利活用、保存、廃棄、公開、限定公開、非公開等の学術データに関わる一連の活動全般を指す。ここで、学術データの公開とは、学術データを他の者が利用できる状態にすること、学術データの限定公開とは、学術データの提供方法や利用者を限定して利用できる状態にすること（例えば、期間を限定した公開又は対価を払った者に限定する場合）、学術データの利活用とは、公開した学術データから、より多くの知的効果等が生み出されるよう、データの価値を高めること、を指す。

5. 大学構成員の責務

大学構成員とは、本学における研究又は教育活動に携わる者をいう。本学に雇用されていなくても、本学において研究又は教育活動に携わる者は、客員教員や学生を含め、全員が「構成員」に含まれる。

大学構成員は、以下（1）から（6）のとおり学術データの管理などを行うこととする。

- （1）収集又は生成した学術データについて、保存の必要性を判断する。
- （2）「管理対象データ」の範囲を定める。
- （3）「管理対象データ」に係る「メタデータ」を作成する。
- （4）「管理対象データ」を「公開」「限定公開」「非公開」に区分する。
- （5）「公開」と区分したデータを他の者が利用できるようにする。
- （6）公的研究費を活用する場合は、データマネジメントプラン（DMP）を作成する。

なお、大学構成員でなくなった後の学術データの取扱いは、当該構成員があらかじめ決定しなければならない。

6. 大学の責務

本学は、大学構成員に対し以下（1）から（3）を支援する。

- （1）学術データ管理の仕組みの検討と構築、運用
- （2）学術データ管理のためのデジタルプラットフォームの整備と提供
- （3）大学内外への学術データ管理の仕組みの周知

7. 補足

- (1) 本学は、公開及び利活用における学術データの利用に関して生ずる一切の損害について責任を負わないものとする。
- (2) 本ポリシー及び解説は、必要に応じて見直すものとする。

(参考) 学術データの「公開」「限定公開」「非公開」に係るフロー図

